



トスケベロリビッチ♡

夏海ちゃんのエッチな

アルバイト







すぐに分かる。

ターの頭が覗く  
まん汁が垂れ流れる

『んひっ♡はへ舌...ふま

はむっ♡んぢゅっ♡れろっ♡れろっ♡

向かって突  
自分の舌を  
親子のキス

『んえっ♡おぢゅっ♡れろ

# オナニーばれからの...近親←ちよりセックス!お父さんとちよりちよりでセックス!

ちよりちよりでセックス

ちよりちよりでセックス

ちよりちよりでセックス

既におぢゅがちよりに勃起したちよんぽを娘の前に晒す





休暇を利用して遊びにきたとある田舎町。

水着のロリでも拝めないかと浜辺に来てみたが、空振りだった。

それどころでも暑ら。

どこか休める所はと考えた折、ふと目に留まったのは海の家。

のぼりははげしくさらさらのりで営業はしてらるようだ。

よじろあそびのりで海を眺めつつ、ビールでも飲むか。

店内には小さな先客が居た。

近所の子だろうか、テレビを眺めながらアイスを舐めている。

俺は手早く注文を済ませると、スマホをいじりつつチラチラと女の子を盗み見る。

〇〇生くらいかな？ ショートパンツにタンクトップとらぶらぶな恰好で、  
無防備に開いた脚が実にあとけない。

小動物を思わせる可愛い顔立ち、つんと張ったふくらみかけのおっぱい、  
小麦色に日焼けした肌は健康的な色気を漂わせ、思わず股間に血が巡ってくる。  
正直、どストライクなルックスだ。

くそっ、こんな子とめさやんさやセックスしまくりてえ。

事案を起す気は無いので、せめてスリネタに活用させて貰おうと、  
ショートパンツやタンクトップの隙間に目を凝らす。



俺の視線に気付いてしまったのか、女の子と目が合おう。

やばっ、気付かれたー！どうする？急いで目を背けるのも不審者感たっぷりだが、優しくスマイルして挨拶、という柄でもない。

最善策を探し思考をフル回転させる。





瞬間、女の子がいたずらっぽく微笑んだ。  
どうやら不審者ルートは回避出来たようだ。

ほっと胸をなでおろし、何か言葉を掛けようとした刹那、  
女の子は思わぬ行動に出た。

舐めていたアイスを口に咥えると、自由になった左手で勢いよくタンクトップを捲り上げたのだ。日焼けしていない白い肌が露になり、小ぶりなおっぱいがこぼれ出る。ノノーブラ？つか、紐？！

一体、何が起こっているんだ！？思考が追い付かない。少女の白い肌同様に、俺の頭も真っ白になる。



慌てる俺を尻目に、少女はさらに俺の理解を超える行動に出た。胸をたくし上げたまま、今度はショーツパンツの裾を捲り、決してお外では露出してはいけない部分を露出したのだ。

あ。あの紐、水着だったのね。紐水着ってやつね。なんかアダルトなお店で売ってるタイプのやつねー。

じゃなく！なんで少女がそんなもの着て俺に股間見せてんだ！？え、何？どつきり？どつかでカメラ回ってるのこれ？？！

んんっ♡

ちんぽっ

などとテンパリながらも、視線は少女の股間に釘付けになる。薄手の素材なのか、地肌が透けて、ぷっくりと膨れた肉に挟まれた綺麗な縦すじがうつすらと見えてくる。

更に、じわりと染み出してきたお汁が申し訳程度に股間を覆う布にシミを作り、差し込む陽射しに反射してめらりとした光を放っている。

既にガチガチに勃起したちんぽがパンツに締め付けられて小さな痛みとして窮屈に對する不満を主張していた。



## 誘われてる!?

少女は再びアイスを手につくと、こちらに流し目を送りながら細かいストロークでアイスをしやぶり始めた。小さく窄めた唇にアイスが出し入れされる。その様は容易にあの行為を想起させる。

- 生が絶対にしちゃダメなああの行為。

ピンクの唇を押し広げ出し入れされるアイスキャンディー。もう間違いようもない。これは、完全に、

『なんだよ、おっさん♥もうめっちゃ勃起してんじゃん♥  
にひひ♥スケベな事考えちゃった?♥おちんぼくるしそうだなー♥  
あたしが楽う〜にしてあげよつか?♥』

『ぞ、それってつまり……』

『もー、分かってんだろ♥♥エッチな

**マツ・サー・ロジ♥**

もさるん、お代は貰うけどさ〜♥おまの〜♥』

裏が無いが疑うべきだろう。ところが○○生でそういう事は色々アワード。  
考えるまでもない。

『じゃ、お願いしよかなッ』

ダメなやつである。しかし、それが本当ならこんなチャンスは二度と無い。  
断言出来る。

『おけー♥おーい、おっさんー!二階借るぞー!』

『おいよ。その変わり夏海ちゃん、後で俺もお願いできるかな?♥』

『んー、疲れてなかったらな♥  
じゃ、行こうぜ♥おっさん♥♥』

んっ♡んぢゅっ♡れるお♡  
あはっ♡おっさんのおちんぽ固ったあ♡  
●●生相手にこんなおつきくさせてんのやばいよ♡  
へんたい○○コンおちんぽだ♡  
あたし犯されちゃうっ♡れるおっ♡ねちゅっ♡

れろっ♡れるっ♡  
○○生のちゅっちゃんなお手手でちんぽしごかれながらベロキスっ♡  
はむっ♡じゅるるっ♡  
こんなの興奮しない方がおかしいって♡  
な、夏海ちゃんだっけっっっっもいんな事してるG...  
ぢゅぶっ♡ぢゅぼっ♡

んへっ♡おしり♡もっとなでなでして♡  
ちゅるっ♡んくっ♡んくっ♡  
ん、たま〜にね♡ちゅっ♡  
あたし、釣りが趣味なんだけど、エサ代とか、  
色々お金がかかるんだよね。  
だから♡こっやっつてアルバイトしてんだ♡  
大人の男の人とのエッチも好きだし♡にひひ♡

んっ♡んぢゅっ♡

おっぱい

んっ♡んぢゅっ♡

（●●年の唾液うめっっっ）  
夏海ちゃんっ♡もうとまごさんの唾液飲んでっ♡  
れろっ♡れろっ♡

んちゅっ♡んぐっ♡えへへ♡おロセックス♡  
うひゃっ♡おちんぼの汁でもう手がべっつとべっただあ♡

夏海ちゃんだってもうお股びしょびしょだよ♡  
小刻みにおまんこ擦りつけてきて♡  
ちっちゃな勃起クリの感触が脚にっ♡  
も、もうこれだけで一発出ちゃっ♡

えっっ♡おっさん早すぎっ♡  
んっ♡あはあ♡  
実はあたしも軽くイキそーだけどな♡  
じゃ、っーっーのはどうだっ♡

っっっっ  
っっっっ  
っっっっ

おっさん  
おっさん  
にっっっ





ペロふえらちお&先っぽぐりぐり攻撃っっー!♡  
ちゅぞぞぞっ♡んぷっ♡んぷっ♡

ふおおっ♡  
(我慢汁ローション) 會頭♡♡  
♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

女♡♡♡♡♡

ちゅる♡♡  
ちゅる♡

ゴ♡♡  
ゴ♡♡

ビ♡♡

い♡♡

あ♡♡



うわすっご♡ゼリーみたいなせーえきいつぱい出たあ♡  
ここまで匂ってくるぞ♡おっさんの金玉がんばったな♡

ハアツ！♡ハアツ！♡  
こんな気持ちいい射精久しぶりだよ♡

てか、おっさんのちんぽ元気だな♡まだコチコチだ♡  
それではハンドマッサージコース500円になります♡  
ちよつと高い???

(安っつっ！！！金銭感覚はやっぱ○供だな！っ！か全然まだ出し足りねえ！)  
ほ、他のコースはあるのかな？

あるぞ！♡  
あるぞ！♡

えーと、おロコース、おまんこコース、あなる？♡コース……  
こーもんの事、あなるって言うんだよな？  
それとスパシャルコース！！！♡

ス、スパシャル！？それってどんなコースなの??

ふっふっふ♡  
スパシャルコースはお口も、おまんこも、あなるも、夏海ちゃんのせーんぶの穴におちんぽ突っ込んで  
せーえき発射し放題のスパシャルなコースとなっております！♡  
けど高いぞ！5000円になります！

えへんとはかりに胸を張る夏海ちゃん。こんなお○様の穴という穴をちんぽで埋める……想像しただけで射精しそうだ。  
俺は迷わずにこう言った。

『スパシャルコースひとつ！♡』

『うへえー、おっさんのちんぽくっさあ〜♡  
せーえきの匂いも濃いなあ♡先っぽに付いてるせーえきでお顔のパック♡  
うりうりい〜♡あたしのほっぺ気持ちいい？♡』

トキトキトキトキ

まずはお口で一発抜いて貰う事になり、  
夏海ちゃんが俺のちんぽの前に跪いてらる。

正直、至近距離でかかると吐息だけでも暴発してしまいそうな俺のちんぽに  
プニプニと柔らかかなほっぺたが擦りつけられるのでたまらな〜♡  
こちらも負けじと突き出された無防備なお尻に手を伸ばし、  
○○生のおまんこの感触を堪能する。

んんん

『な、夏海ちゃんっ♡早くっ♡  
早くちんぽしやぶって♡もう我慢の限界っっ！♡』

『そ〜っ♡どーしよっかな〜♡  
もうちんぽとちんぽで遊びたいしな〜♡』

ニヤニヤ

鈴口に鼻を付けて精液の匂いを嗅ぎながら  
夏海ちゃんが小悪魔的にニヤリと笑う。  
すくしよう、○生のくせいらっしやあ、おまんこ焦らしやがっつて!!!♡♡♡

ニヤニヤ

ニヤニヤ

んんん

『なーんてね♡おっさんおちんぽ夏海のお回じいあんなー♡あはっ♡』

ぞくぞく♡  
ぞくぞく♡

ぽん♡

ハアアアアア♡

不意打ち気味に亀頭が夏海ちゃんの回内に包まれ、思わず声が漏れてしまう。

めるめると温かい○○生の回内♡  
普段、○食を食べたり、友達とおしゃべりしてるお口に  
勃起したちんぽを唾えさせているという背徳感♡  
あまりの快感に尿道からカウパーがとめどなく溢れる♡

『んっ♡おひんぽのあひい♡ほのあひふひい♡ほーおっ♡ひもひらっ♡』

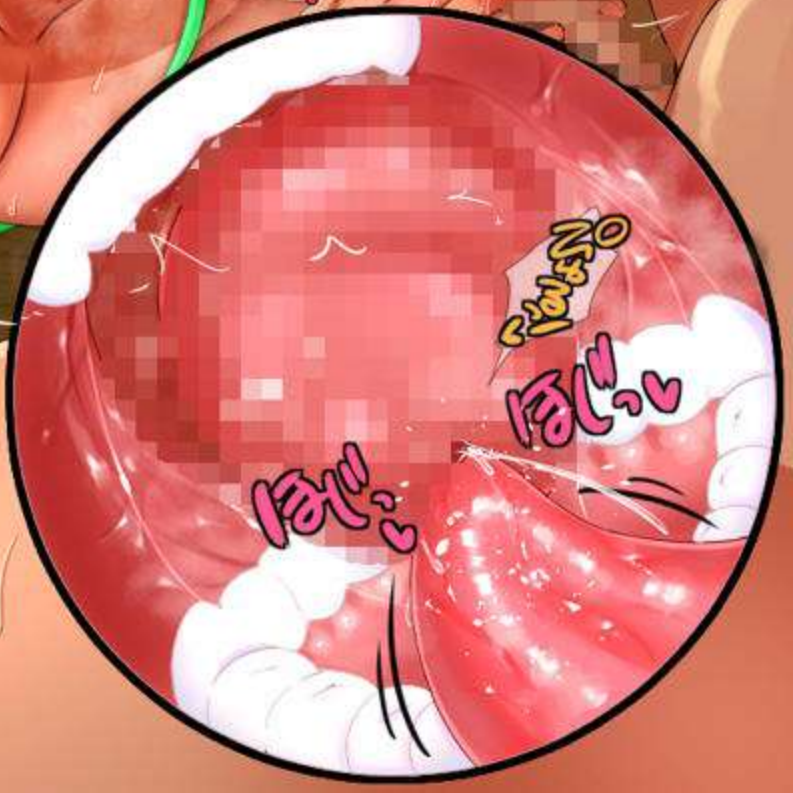
亀頭を頬張ったまま夏海ちゃんが喋るので  
ねちよねちよと舌が亀頭を這いまわり、  
その度に痺れるような快感が走る♡

『な、夏海ちゃんっ！♡唾えたまま喋られると刺激が…おふっ！♡♡』

ぞんぞん♡  
ぞんぞん♡

おまんこ♡  
おまんこ♡

ちゅっ♡  
ちゅっ♡



『んぷっ♡んぷっ♡んぢゅっ♡れるれるあ♡♡♡』

快感ののけ反る俺を見て目を細めた夏海ちゃんは  
更に快感を与えるべく、執拗に尿道を舌でほじくり始めた♡  
尖らせた舌先がぞりぞりと敏感な尿道を何度も往復し、  
その度に腰が浮いてしまう♡

『夏海ちゃんっ♡っ♡っ♡おまんこ♡♡おまんこ♡♡おまんこ♡♡』







『んぶっ♡♡♡ごきゅっ♡♡♡ごきゅっ♡♡♡ごきゅっ♡♡♡』

金玉からありったけ絞り出すような射精♡  
一回目の大きな波では飽き足りず、尾を引くような射精感に任せて脈打つようにせり上がるザー汁を夏海ちゃんの口に吐き捨てる♡  
そしてその全てを夏海ちゃんは喉を鳴らして飲み込んでいった♡  
見れば夏海ちゃんも口内射精で軽くイったようで、  
俺の指先は○供おまんこから噴き出したイキ潮で生温かく濡れている♡  
日焼けしていない真っ白なお尻と細い腰が小刻みに震えていた。  
なんて子だ…っ！まさか！ドスケベロリビッチー！♡♡

んんんん♡♡♡

んんんんんん♡♡♡

グキョッ  
グキョッ

んんんんんん♡♡♡

んんんんんん♡♡♡

んんんんんん♡♡♡



『もーっ♡おっさん出し過ぎっ！♡  
溺れるかと思ったたじやん！♡  
いしっっ♡あたしのお口気持ち良かったか？♡』

涙目で笑顔を浮かべる夏海ちゃん。

なんて健気なロリビッチだ！♡

これはもう徹底的にぶち犯してやらないといけない！♡  
使命感にも似たものが俺の胸に去来する。

幸いな事に俺のちんぽは二発発射してなお、  
萎える事無くフル勃起状態をキープしている。

というか、今この瞬間にも金玉の精子工場が  
フル稼働で精液を生産しているのが実感出来た。

次はどうやってこの○供ボディを愉しもうか。

いまだ臨戦態勢とはいえ、クールダウンも必要だろう。  
となれば……

クールダウンも兼ねて、夏海ちゃんのおケツとおまんこを愉しみまくなー！  
先ほどは夏海ちゃんの怒涛の口撃に圧倒され、余裕が無かったが今度はいすらの番、という事だ  
ちゃんばはお掃除フェラを堪能しつつ、指は○供おまんこを堪能。我ながら素晴らしー！  
マインディア

『夏海ちゃん、今度は俺が気持ちよくなってあげな  
よ！おまんこそのままちゃんば降らせてっ！』

あー

ひいひい

ねちまっ

なちっ

んっ

『さらさら♥サーしでべっとなだっ  
ちやんと綺麗にしないとな♥おまんこ♥ぢゅるっ♥ぢゅるっ♥ぷぷっ』

『ふおおっ♥射精後敏感ちゃんばの○供フェラ効くっっっ』

それでは縦すじぷいぷいのロリまんこからいたただきまーす♥  
マシユマロのようなぷつくらお肉をかき分けて既にお汁でべちよべちよの肉ひだに指を滑り込ませる♥

『んおおっ♥♥♥』

夢中でちんぽをしゃぶっていた夏海ちゃんの身体が刺激に反応して小さく跳ねる♥  
おおっ♥○供は体温が高いというが、まさしく熱々ほかほかの○供おまんこっ♥♥  
指だけ温泉に浸かっているような感覚だ♥  
指二本も入るとすでにキツキツで、膣口がぎゅうぎゅうと締め付けてくる♥  
こんな狭い穴にこれから大人ちんぽをぶちこむっ!♥  
最高の幸福とは必ず来ると分かった幸せを待つ時間だという。  
今がまさにその時っ!♥肉穴の感触を楽しむように、優しく内部を撫で回す。  
ねちねちと卑猥な音立てながらぞりぞりとした肉粒の感触を味わう度、  
夏海ちゃん口から吐息混じりの嬌声が漏れ出る♥



『そろそろ夏海ちゃん、アナルでもおちんぽごっこ出来るんだよね?』

『ぶあつ♥おう♥』

前に釣具屋のおっさんとエッチした時にいつばいいじられてからハマっちゃったんだよね♥  
貰ったおもちゃで家でもあなるおなにーしてる♥  
バイトの時は家でかんちよーしてるからキレイだぞ♥  
こーもんの締め付けがすぐくて、ちんぽの根本までずっぽり入る  
から気持ちいいんだってさ♥えへへ♥おっさんもこーもんにハマてみるか?♥♥』

夏海ちゃんの口から次々と刺激的な言葉が飛び出る。

夏海ちゃんが他の男とアナルセックス!家でアナニー!

嫉妬と興奮がない交ぜになり、もうどうかなくなっちゃいそう。

●●生の肛門に勃起ちんぽを突き立てる…ゴクリ、と俺は生唾を飲み込んだ。

ならば遠慮なくと、今度は夏海ちゃんのみつつく窄まった肛門に指を滑り込ませる。  
まん汁ローションのおかげでぬるりとスムーズに俺の指はけつ穴に侵入を果たしたが、  
おうっっっ♡こちらもおまんこ同様に、いや、それ以上に熱く激しい締め付けっ♡

『はへええっ♡♡♡』

あゝゝゝ

あゝゝゝ

ぬゝゝゝゝ  
ぬゝゝゝゝ  
ぬゝゝゝゝ  
ぬゝゝゝゝ

あゝゝゝ

夏海ちゃんも先ほど同様に良い反応♡♡  
開いた口からザーメン混じりの唾液を垂らし、恍惚の表情を浮かべている♡  
この子ほんつとスケベだなと感心しつつ、ゆっくりと直腸の感触を味わう。  
肛門はぎゅっぎゅと締め付けてくるのに中はふんわりトロトロだ♡  
ここにちんぽを根本まで埋め込んで、夏海ちゃんの体内深くにおもいつきり  
射精するのはさぞ気持ち良いだろう♡  
そんな事を考えながら俺は夏海ちゃんのけつ穴をほじりまくった♡



『あ、おっぴゃんっ！♡はへっ！♡んぐんぐりはひきまようぢおっ！♡おへっ♡♡♡』

肩で息をしながら抗議してくる夏海ちゃん♡  
なるほどなるほど♡  
かなり敏感な夏海ちゃんの身体の中でも、  
ケリは特に敏感らしい♡  
弱みを握ったような満足感が胸にこみ上げろ♡

あ♡♡♡♡♡

『いぢらごいぢらごいぢら♡夏海ちゃんも疲れたでしよっ♡  
全裸を願っへっ！とらちねだん♡はんぶの腰に手を回してお尻を突き出して♡』





俺は仰向けになると開かれたお股の間にすりりと顔を潜り込ませる♥  
 いわゆる顔面騎乗ポーズだ♥  
 〇距離で眼前に広がる〇〇生のおまんこ♥  
 ふわっとしたミルクの香りとミンと響きつくおまんこがひたす上のお股は甘酸っぱい香気♥  
 左右の手で薄いケツ肉を開きつつ剥き出しのおまんこにしゃぶしゃぶしちゃうん♥

『ひゃっ♥』

ぐんぐん♥

な〜ん♥  
 Fekhhhhhhhh

あ〜ん♥

夏海ちゃんが可愛い声をあげると腰をくねらせた♥  
 〇〇生のちゅちゅやなおまんこは俺の口にすっぱり収まるサイズ感♥  
 俺はおむおむの肉ひだを唇で弄ぶ♥



そのまま腰でワリの皮を押し上げながら腰回をぶっつけて肛門を差し込む♡  
べりっぺした酸味を感じながら、内臓をまたぐような快感を全身で感じて回る♡

『おひゃっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おひゃっ♡おひゃっ♡おひゃっ♡おひゃっ♡』

ぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん  
ぐんぐん  
ぐんぐん  
ぐんぐん  
ぐんぐん  
ぐんぐん  
ぐんぐん  
ぐんぐん

尻を揺すりながら、走る刺激に喘ぐ夏海ちゃん♡  
おまんこど口のティープキス♡  
うめえっ！♡○供まんこうめえっ！♡  
俺は鼻息も荒く、夢中で膣肉をしゃぶりまくる♡





『はっ♡はっ♡はっ♡あっ♡あひっ♡♡♡』

お交際セックス

息を荒くしながら、ふくふくと尻を動かす夏海さまと♡  
一際濃いマン汁が糸を引くふよふよの尻を動かす♡

お互いに準備完了♡

ここからが〇供とのがちんごセックス！

俺はゴムを持って無いし、夏海ちゃんもその様子は無い。  
という事は♡ゴム無し性交尾っ！？♡  
本気の受精セックスっ！？♡

はっ♡はっ♡はっ♡

あー♡

『んふふっ♡おっさんもあたしも準備おっけーっって感じだな♡  
ちんぽっ♡大人のぶっっといちんぽでおまんこふさいでくれ♡♡』

片脚を抱え、むきだしおまんこの  
ウエルカム状態でちんぽのおねだりをする夏海ちゃん♡

『ぞ、ぞういえば夏海ちゃんって、  
生理はもう来てるの?』

『おう♡この前学校から帰って来たらパンツに血がついてた♡  
お母さんはお赤飯だーっって喜んでたな。  
だから、せーえき生でドピュドピュしたら妊娠しちゃうかもなー♡  
んひっ♡○○生、妊娠させてみるか?♡♡』

らやらしい笑みを浮かべて夏海ちゃんが尻をふる♡

はぁ♡はぁ♡

俺は寝バツクの体勢でがちがちに勃起したちゃんぽを  
左右の尻たぶの隙間に挟み込んだ♡

『セックスっ！♡○供に種付けセックスっ！♡♡  
絶対に妊娠させてやるっ！…♡覚悟しろよっ！…♡♡』  
息も荒く、夏海ちゃんのふいふいに柔らかかなな下っ腹に  
亀頭をぐりぐりと押し付ける♡

ハハハハ♡  
ハハハハ♡  
ハハハハ♡

いっ♡

トキ♡  
トキ♡

はぁ♡  
はぁ♡

『きゃーっ♡♡ねらぶきゃね♡♡っ♡♡  
おじさんにお母さんにはきゃきゃさきさきっ♡♡♡♡』





『見ず知らずのおじさんにおまんこ生開放してっー!♡  
悪い子の夏海ちゃんはこうしてやるっー!♡』  
俺は腰を動かしながら空いた手で  
夏海ちゃんのピンと勃起した乳首をつまみ力を込める♡

『♡♡♡おまんこ♡♡♡夏海ちゃん♡♡♡  
♡♡♡おまんこ♡♡♡ごっくん♡♡♡』



あーっ  
あーっ  
あーっ

びびっ!

おまんこ  
おまんこ  
おまんこ

びびっ!

びびっ!

『乳首捻られて喜ぶなんて、夏海ちゃってMっ気あるね♡  
今から大人ちゃんぽでずぼすぼもつとイジメてやるぞあ〜♡♡』  
狭い膣口に亀頭をあてがい、軽く力を込める♡  
膣口は侵入を阻むように抵抗し、圧力でちゃんぽが歪むが、  
おまんこの抵抗空しくズブズブと亀頭の先端がめり込んでいく♡

『おっ♡ち、ちゃんぽ入ってきちゃうっ♡♡んひいっ♡♡♡♡』





『おっ！♡おっ！♡んおおおっ！！♡♡  
しゅごっ！♡♡大人ちんぽしゅごおおっ！！♡♡  
ごわれるっ！♡♡あたしのおまんこごわれりゅううっ！！♡♡』

『ふっ！♡ふっ！♡セックスっ！！♡♡  
●●生と子作り性交尾っ！！♡♡  
お仕置きだっ！！♡♡  
悪いおまんこにお仕置きしてやるっ！！♡♡  
イけっ！！♡♡  
大人の本気チンポでガキアクメしろあっ！！♡♡』

おまんこ

おまんこ

おまんこ

『ほっ！♡んぐおあ♡♡』

おっ、おしおき好きいいっ！！♡♡

おちんぽでお仕置き好きいいっ！！♡♡

イぐっ！！♡♡すぐイっぢやうっ！！♡♡

んほおおっ！！♡♡

イグうっ！！♡♡おちんぽでおまんこずぼすぼされてイグっ！！♡♡

おっ、奥までスンスンっ！！♡♡

イぐっ！！♡♡イグイグイグうっ！！♡♡



大量に膣内射精されてなお、貪欲に締め付ける肉ひだからズルリとちんぽを抜く♥

『おっ♥♥♥』

夏海ちゃんの口から喜悦の悲鳴が漏れ出る♥

ぶちまけた精子が外に出ず、確実な妊娠するよよい膣口を手で塞いで♥

『ほひっ♥ほひっ♥』

挿入  
挿入

挿入  
挿入

舌を突き出し、アグメの余韻に浸る夏海ちゃんだが、これくらいではまだ俺のチンポはおっぴろぎなっ♥

ずむっっっ!!!♡♡♡♡

油断しきつっている夏海ちゃんの肛門に  
不意打ち気味におちゃんぽかんちゅーっ!!!♡♡♡♡

『んぎららららっっっ!!!♡♡♡♡』

アケメの余韻が続いている中での二撃。

めるりと侵入してきたちゃんぽで直腸ごしに子宮を小突かれて、  
またもあっさりと夏海ちゃんはいっつてしまおう♡♡♡♡

『はおおおおっ!!!♡♡♡♡』

こちらもまたイッたばかりの敏感ちゃんぽを肛門でぎりりと締め付けられて、  
激しい快感を脳に打ち込まれる!!!♡♡♡♡

あゝんぎららららっっっ!!!♡♡♡♡

んぎららららっっっ!!!♡♡♡♡





『はあっ！はあっ！たっくさん中だしされちゃったね♡夏海ちゃん♡♡♡  
これはもう確実に妊娠しちゃったかもね♡♡♡』

俺は小刻みに腰を動かして、夏海ちゃんの肛門を刺激しながら、  
可愛い割れ目を指で押し広げる♡  
子宮裏をこする度に、  
大量に射精したぜー汁が夏海ちゃんのおまんこから噴き出した♡♡





蕩けきった顔で喘ぐと、ピストンを待たずに腰を使い、  
気持ちの良い場所を自らでこすり上げる夏海ちゃん♡  
まさに底なしのロリビッチー!!♡

『いいおっ♡♡夏海のおまんこがいいが気持ちさらさらのおっ♡♡  
あへっ♡あへっ♡イグうっ♡♡またすぐおまんこのおっ♡♡♡』



『な、夏海ちゃんっ!♡そんなに動かれたら♡  
おふっ♡♡俺もすぐイぐうっ!!♡♡♡』

ぢゅぽんっっっ!!!!

『ひあああ〜♡♡♡♡』

いまだ怒張したままのチンポが勢いよく抜けると夏海ちゃんが小さく鳴いた♡

夏海ちゃんのおまんこからたっぷりと出したザーメンがぶびぶびとがこぼれ出る♡

おまんこはさあんなに大きいのよ♡  
おまんこはさあんなに大きいのよ♡  
おまんこはさあんなに大きいのよ♡

体力は既に限界なのに、俺のちんぽはまだこの少女を犯し足りならさへ、ギンギンにそそり立っている♡  
素晴らしい時間だった。  
この先の人生でこんなセックスは二度と出来ないだろうという確信がある。  
こうして夏海ちゃんのスペシャルコースは幕を閉じたのであった。



『気持ち良かったあ〜♡そんなじゃ、そろそろ夕飯だしあたし帰るわ♡またね〜♡』

『な、夏海ちゃん! その、連絡先の交換とかしない? またお願いしたいし!』

『え〜、めんどいからやだ♡』

『そ、そんなあ...』



落ち込む俺を見て夏海ちゃんが靈感的な笑みを浮かべる。

『そー落ち込むなよ♡またバイブする時は♡♡♡入んぷらぷらしてゐるから♡  
そーれ♡に♡♡♡もしかしたらおっさんの子供出来ちゃってゐるかもじゃん♡♡  
次エッチする時はお腹大きくなつてたりして♡お腹に赤ちゃんいるあたしとエッチ出来るかもよ♡♡』

ポテ腹夏海ちゃん！♡♡の生妊婦との♡♡つちよん♡♡つちよん♡♡の生交尾！  
想像しただけで射精してしまっそうだ♡♡

『そんじやバイバーイ♡♡』

手を振って駆けていく夏海ちゃん。

俺、こっちに移住しようかな。そんな事を考えつつ俺はいつまでもその姿を見送っていたのであった。

夏とらえば、ひと夏のくなんて言うように出会いイベントが多く発生する季節です。  
らっしー。世間一般では。

所詮は陰キャ・ロリコンであるところの自分には関係の無い事だ。

引きこもって家でオナつてばかりでは流石に不健康だろうと、  
ふらりと散歩ついでに海まで来てはみたが、  
当然と言えば当然だが特に何かあるわけでも無い。

そろそろ帰って、溜めたコンテンツの消費でもするかと思い始めた頃、  
一人の女の子が目についた。

トトトトと回りながら歩いて来る、褐色の肌と、どの尻尾ヘアが良く似合う女の子。

可愛いなあ♡近所の子だっけ？こんな子とひと夏の思い出を残せたらどんなに最高だっけ。

あたりに人は居ないが、声をかけるなんて真似は出来ようはずもない。

防犯ブザーを鳴らされるのが関の山だっけ。

何事もなくすれ違おうとしたところ、何故か女の子はこちらに向かって歩いて来る。





女の子が俺の前で立ち止まる。  
道でも尋ねられるのだからか？

そんな些末な事でもこんな可愛い子と会話が出来るだけでテンションは上がね♡

『どいどいしたの？道に迷ってんのか〜』

おずおずと俺が会話を切り出す。

『もちろん。いらしゃんってせ、**ロリコン**じゃね〜♡』

『なっ？！』

突然何を言ひ出すんだこの子は！

ま、まあ当たってているが、それにしたって突拍子も無い過ぎて俺は絶句する。そんな俺を見て、女の子はいやっと思いジワルような笑みを浮かべる。

『だって、あたしの事やらしー目で見えてたじゃん♡  
だからそうなのかなーって思ってたな♡』

そ、そんな目をしてたか俺!?!  
確かに、頭の中で色々妄想はしていた手前、その言葉を真向から否定する事は難しう。  
困惑してキョドってる俺を見てにやにやしながら女の子は言葉を続ける。

『やっぱりなー♡な、あたしがマッサージしてやるっか?♡気持ちーぞー♡♡』

『ええ?ー!ま、マッサージして…肩もみ…とか?』





人気の無い砂浜の一角、俺は夏海ちゃんが用意したシートの上に仰向けになり、夏海ちゃんの前に包茎ちゃんぽを晒していた。

『だ、大丈夫かな？こんなところに見られたら……』

夏海ちゃんは着ていたTシャツを脱ぎ、未成熟なおっぱいが丸出しのトスケベカスタムのスク水姿。こちらにも他人に見られてもしたら大変な恰好である。

『へーきへーき』  
こちらへんは穴場でほとんど人こないからさ♡  
うっわくつさ♡♡ほーけーちゃんぽだあ♡♡ちゃんと洗ってんのか？めっちゃんカス臭するぞ♡♡♡

辛辣な言葉とは対照的に、夏海ちゃんは皮から頭を出した亀頭の先端、尿道に鼻をくっつけて嬉しそうに臭いを嗅いでいる。

『さ、最近はお風呂入って無かったから……ごめんね』

『やっぱりかよ♡♡んじや、ちゃんんとキレイにお掃除しないとだな♡♡えへへ♡♡そんなじや、チンカスお掃除&お回マッサージ開始い♡♡♡』

『あ~~~~んっ♡♡♡♡♡』

なんの躊躇いも無く、俺の汚さんぽをばくっ♡♡♡と啜る夏海ちゃん♡

『おひっ!~!♡♡♡♡♡』

女○の口内あつたけえ~~~~♡  
ちんぽが唾液たっぷりのぬるりとした感触に包まれる♡  
まだ○齒も残ってそうなお口に俺の包茎ちんぽが突っ込まれている様は  
刺激が強すぎて、夏海ちゃんの口内でさらにチンポが膨れ上がる♡  
ついでに先走りの汁が尿道からじわりと漏れ出した♡

『ん~~~~っ♡♡♡ひーふみはいなあひ(チースみたいな味)~~~~♡♡♡♡♡』



『んえっ♡ねぢゅっ♡ほーはっ♡ひはさひ♡てっ♡(いよちって舌をいれて)♡  
ちゅぷぷぷっ♡♡』

夏海ちゃんが上目遣いに俺を見ながら、  
口内で包茎ちんぽの皮の隙間に  
小さい舌を差し込む♡

『んおおっっ♡♡♡』

普段は皮で保護された敏感な亀頭に  
甘く痺れるような刺激が走る♡♡

『んえっっ♡えっっ♡えっっ♡  
ぢゅいっっ♡いぢゅっ♡』

そのまま包皮内のチンカスを舌でこぎぬように  
ぐりぐりと舌を動かす♡♡  
亀頭全体を円を描くように丹念に舌先で舐め回し  
包皮内のチンカスを

徹底的に舐めとる夏海ちゃん♡



にゅりいらいらっ♡♡♡♡♡♡

夏海ちゃんの舌先で丹念にほぐされ、  
舌の力に負けた包皮が口内でするりと剥ける♡

『んっ♡むへはあ♡♡♡』

夏海ちゃんは嬉しそうに目を細めると

今度は裏すじに舌先を這わせ、

ぞりぞりとそこに付着したチンカスをひきぞりでおく♡♡♡♡♡♡

さぁ♡  
ちゅゅ♡  
わっ♡  
わっ♡  
ちゅゅ♡  
ちゅゅ♡

『んふっ♡♡♡♡♡♡  
ほほひもっ♡♡ふあっ♡♡(いっ♡いっ♡)せっ♡(あっ♡)♡♡♡♡♡♡』

『あっ♡

♡♡♡♡♡♡』

『みへみへ♡♡♡  
ひんかすほんないいつふあ〜♡♡♡♡♡』

ちんぽから口を話した夏海ちゃんがこちらに向けてんべつと舌を出す♡  
舌の上にはこつてりとチンポからこそいだチンカスが乗り、  
唾液に溶けてぬらぬらとした光を放っている♡

『んへんっ♡おにいひゃんのひんかす〜いふあふあひま〜す  
(おにいちゃんのチンカスいただきま〜す)♡♡』









『はっぴー♡』

『はっい♥』

ひへいになひまひふあ(きれいになりました)♥♥♥♥

そのまま唾液とチンカスのカクテルを嚥下し、  
こちらにピンクの舌を出してみせる♥♥  
俺のチンカスを〇〇生の女〇が飲み下すという  
ドエロい様を見せつけられて、ちんぽは更に硬度を増す♥♥

『よーし♥綺麗になったとこで本気のおちんぽマッサージするぞ♥  
あたしのお口にたっぷりしゃせーしていいから♥♥♥』



『あむっ♥すぞぞぞぞぞっ♥♥♥♥』

ずる剥け状態の亀頭を啜え込み、  
頬を窄めてバキュームフレラチオ♥♥♥  
どいどいぞこんな事覚えただこの子は！♥♥♥

ぷりつとした柔らかい唇でカリ首をホールドし、  
尿道ストローから金玉内の精液を嚙り込むような吸引♥♥♥  
その間も口内の舌はめめめめと亀頭全体に唾液をまぶすように動き回る♥♥♥

『ほおおおっっ♥♥♥気持ち良すぎんぞっっっ♥♥♥』



『ぶはっ♡いいいちゃん、なっさけない顔♡♡♡  
にひっ♡♡いいんだぞ?♡♡♡  
あたしのお口、おトイレがわりにして、  
金玉にたっぷり溜めたくっさいせーえき  
どぴゅってしちやえよ♡♡んべろっ♡れろれろれろおおっっ!♡♡♡♡』



チンポに吸い付いた唇の隙間から舌を出し、  
れろれろと下品に舌を動かす夏海ちゃん♡  
『うらららうららうらら!♡♡女OPフェラで精液口内発射するっっっ!♡♡♡♡』

口内で俺のちんぽが膨れる感触で

射精の予兆を感じ取ったのか、

夏海ちゃんが小刻みに素早く唇をストロークさせる♡♡

『んぢゅっ♡んぢゅっ♡んぢゅっ♡んぢゅっ♡

いゅぷっ♡いゅぷっ♡いゅぷっ♡いゅぷっ♡』

夏海ちゃん  
イェーイ

唇から唾液が飛び散る程の激しいストローク！  
こんなの耐えきれないっ！♡♡

『んぢゅっ♡んぢゅっ♡んぢゅっ♡んぢゅっ♡んぢゅっ♡んぢゅっ♡んぢゅっ♡んぢゅっ♡んぢゅっ♡んぢゅっ♡』



ぶびゅっ！♡ぶびゅっ！♡ぶびゅっ！♡ぶびゅっ！♡

金玉から二波、三波の精液が尿道を通って発射される♡  
それらを全て吸い取りたい夏海さんは吸引を止めない♡

『♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡』





『ぢゅっっぽん！♡♡♡  
っぷへえ♡♡♡  
みへみへっ♡♡♡いつふあいにれたあ♡♡♡♡♡』



口内の精液を漏らさないように、  
唇を窄めたまま口からちんぽを抜くと  
舌の上いたっぷりと乗った精液を嬉しそうに見せる夏海ちゃん♡  
黄みがかった白濁の、  
見るからに濃そうな精液が日の光に反射してキラキラと輝いてる♡

『んんんっっ♡♡♡むざむざっ♡♡♡ちんぽっ♡♡♡ちんぽっ♡♡♡』

先ほどのチンカスと同じように、  
口内の精液をぐちゅぐちゅと噛みしめ……



ぐっぐん♡♡♡

『んっ♡んっ♡んっ♡』

グググ  
グググ

喉にへばりつくザーメンを  
唾液で胃に流し込むように嚥下して早く夏海ちゃん♡♡



『つぶはあ♥』

えへー♥にいちやんのエッチなミルクごちそうさまでしたあ♥  
すっげー濃いなあ♥♥まだ喉に残ってる感じするう♥♥』

♥  
けぷつと精液臭のするゲップをして、夏海ちゃんが目を垂らすよ♥

『ふああああ…す、すげえ気持ち良かったああ♥♥♥』

いつものオナニーの非では無い量の精液をぶちまけ、  
いまだ快感の余韻に漂っている俺。

『いひひ♥次は何して遊ぶ?♥♥』

『あは♥どうだ?♥あたしのおまんこことこーもんよく見える?♥』

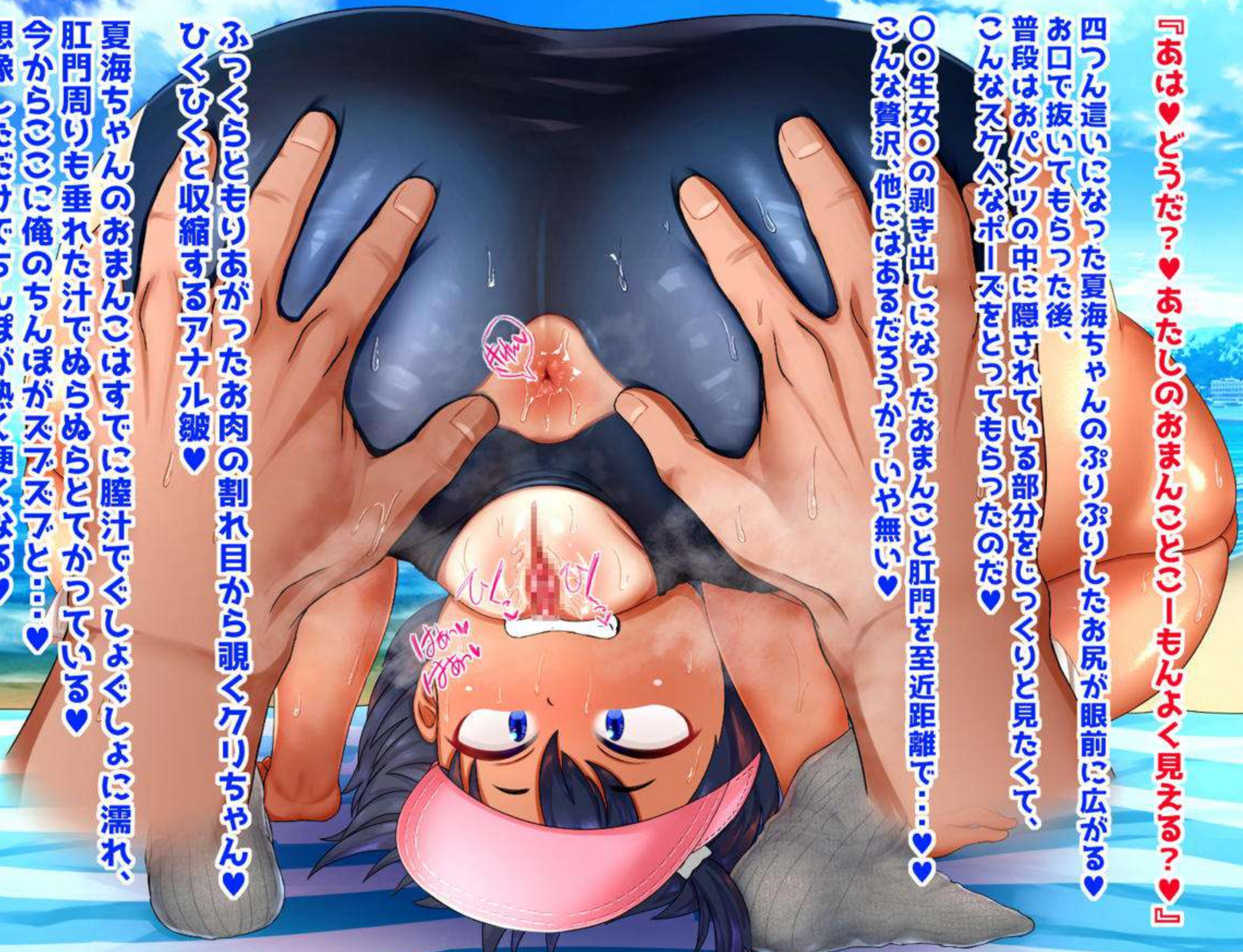
四つん這いになった夏海ちゃんのお尻のぷりぷりしたお尻が眼前に広がる♥  
お口で抜いてもらった後、

普段はおパンツの中に隠されている部分をじっくりと見たくて、  
こんなスケベなポーズをとってもらったのだ♥

〇〇生女〇の剥き出しになったおまんここと肛門を至近距離で……♥♥  
こんな贅沢、他にはあるだろうか?いや無い♥

ふっくらと盛りあがったお肉の割れ目から覗くクリちゃん♥  
くっくくと収縮するアナル皺♥

夏海ちゃんのおまんこはすでに膣汁でぐしょぐしょに濡れ、  
肛門周りも垂れた汁でぬらぬらとてかっかっている♥  
今からここに俺のちんぽがズブズブと……♥  
想像しただけでちんぽが熱く硬くなる♥



汗ばむ手で夏海ちゃんのお尻を掴みながら鼻息も荒く、  
食い入るように二つの性器に視線を注ぐ♡

『いひっ♡そんなにじっくり見られたら恥ずかしいよぉ♡♡  
どっ♡あたしのお尻エロい♡♡興奮するの♡♡♡』

そう言いながら、ふりふりとお尻をふる夏海ちゃん♡

言ってる夏海ちゃんもこれからされるスケベな行為を想像して  
興奮しているのか、おまんこからロリと濃い膣汁が垂れ、お尻の動きに  
合わせてブラブラと揺れてる♡



『めっっちゃエロらよー♥♥おまんこもっつちの穴も♥♥』

言らながらふっつと肛門を凸げる♥♥はあ〜♥♥〇貫Gパンク肛門♥♥

『えへへ♥♥いいちゃん、こーもんも好きなのか?♥♥

ヘンタイだあ〜♥♥ま、あたしも好きだけどな♥♥

こーもんにおちんぼハメハメ♥♥』

『えっ?ーっのいもちゃんぼハメてららGー?♥♥♥♥』

『おう♥♥ちゃんと準備してるからな♥♥

おまんこでこーもんどうちもハメハメコースで3000円になります♥♥♥♥』

『払う払う!ー!♥♥♥♥』

『あ、そうだ♥♥おちんぼ入れる前にい〜…:♥♥  
かんちよー♥♥つてしてみるか?♥♥♥♥』

『へ?…:かんちよー?』

『学校でさ、男子がふざけてやってるやつ♥♥

こーもん指つつこんでかんちよー♥♥つて♥♥

えへへっ♥♥あれやってみる?♥♥』





傷付けぬようゆっくり、  
揃えた指を夏海ちゃん肛門にあてがい、  
ずぶずぶと指を埋め込んでいく♥  
指先から感じられる女〇の熱い体温♥  
愛液ローションでぬるぬるの肛門は  
締め付けは強いものの抵抗なく指を飲み込む♥

『んおおっ♥♥』

夏海ちゃんの尻がビクビクと痙攣し、  
おまんこからはじくじくと止めどなく汁が滴る♥

指の第一関節までを肛門に埋め込んだ状態から…

ずぶうっっ！♡♡♡

♡♡  
びんが

一気に第二関節まで突き入れる！♡♡

『おっへえええっっ♡♡♡』

夏海ちゃんがだらしなく喘ぐとビクンっ！と一瞬強く痙攣した♡♡  
尿道からぴゅっと潮が噴き上がる♡

『あへええ♡』

『お、おとなかちよーで軽くイっちやっただあ♡♡♡』



『いしらないおにいちゃんの前で  
こんなスケベなポーズで肛門ほじくられて喜んでる悪いお尻はいりだっ!!』

そのままスポスポとピストン開始っ!!♡♡♡

♡♡♡  
♡♡♡  
♡♡♡

お尻が気持ちいい!!  
お尻が気持ちいい!!  
お尻が気持ちいい!!

『んいちゃあああああっ!!♡♡♡♡♡』

『イっ、イぐうっ!!!♡♡♡  
にいちゃんのかんちよーでイぐうっ!!!♡  
おっ♡おっ♡んおおおっ!!!♡♡♡♡♡』

夏海ちゃんの尻が大きくビクンっ!と跳ねるで  
小刻みに震えながらおまんこから淫声を噴き出すわさす♡♡♡





俺は夏海ちゃんの返事を待たずにいきり立ったちんぽを夏海ちゃんのおまんこに突き立てた！♡♡♡

『はへええええっっっ！！！！♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡』  
おちんぽきたあぁあっっ！！！！♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡』

『ほおおおおっっ！！！！♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡』

あまりの快楽に自然と声が漏れ出る♡  
愛用していた高級ロリ穴オナホなんて目じゃないうっ！！

膣内の強烈な締め付け♡♡  
無数の肉ひだがプチユプチュとちんぽに絡みつき、  
ぞりぞりとした肉の粒がちんぽ全体を激しく摩擦する♡♡♡♡♡♡♡♡♡  
そして、亀頭の先端でむちゅむちゅと吸い付いて来るネ子官口♡♡♡♡♡♡♡♡♡

これが現役●●生の生まんこっっ！！！！♡♡♡♡♡♡♡♡♡

『ほぅっ！っ！っ！♡はへっ！っ！っ！♡

おっ♡おっ♡おおおおおおあっっっ！っ！っ！♡♡♡♡

しゅじゅっ！っ！♡おちゃんぽんずんずんしゅじゅじゅおおおあっっっ！っ！っ！っ！……♡♡♡♡』

『ふおおっ！っ！♡ふうっ！っ！♡ふうっ！っ！♡ふうっ！っ！♡んはあっ！っ！っ！♡♡♡♡』

デカニッパクもクツもならめちやくちやなピストン♡♡♡♡  
お互らに獣のような声を上げながらひたすら交尾に耽る♡♡♡♡

お七♡

おん♡

お七♡

おん♡

おん♡

屋外で●供と大人がぐちよぐちよのセックスっっ！っ！っ！♡♡♡♡

『おへええええええっっ！っ！♡♡

ちゃんぽっ！♡ちゃんぽまたあっきくなっ！っ！……♡♡

あっぐうううううっ！っ！♡♡せーしっ！っ！♡♡夏海のまんこにびゅーっ！っ！してええええっ！っ！♡♡♡♡んひいらいらいっっ！っ！♡♡♡♡』

金玉から熱くせり上がったきた精液は既に尿道の半場まで来てっ！っ！♡♡♡♡♡♡♡♡  
もちろんこのまま子宮にぶちまけたいところだが、俺は齒を食らっしゅっ！っ！  
瞳からちゃんぽを勢いよく抜くと……







『いいちや〜ん♥ちんぽっ♥

おちんぽちょーだい♥あたしのおまんこにおちんぽ食べさせてえ♥♥

すっかり発情甘えモードになった夏海ちゃんはスク水を脱ぎ、  
綺麗な日焼け跡の残る肌を夏の陽光の下に晒していた♥  
人気の無いビーチで白昼堂々のセックス!♥  
しかも相手は●●生!♥もうどうにでもなれ!♥  
これで逮捕されても俺に悔いは無い!♥♥♥



ぶぢゅぽっつっ!!!♡♡♡

剥き出しの濡れ濡れガキまんこに一気にちんぽを突き込むっ!!!♡

ちんぽ

『ちんぽからちんぽからちんぽからっっっっっ!!!♡♡♡』

いらちんぽのあつあつあちんぽきたあっっ!!!♡♡♡♡♡

ぶっぢゅぽっつっっっっ!!!♡♡♡

未成熟なガキまんこは浅く、  
更には受精する気まんまんまで子宮が下りていた為、  
ちんぽの鈴口と子宮口がすぐにデインターキス  
してしまう♡

夏海ちゃんのスケベな子宮口は

鈴口から漏れでた我慢汁すら一滴も残すまいとする様に、

ぢゅぽっつっると尿道に吸い付いて来る♡

ちんぽ

腰を使い、亀頭で子宮口を撫で回しながら膣内の感触を楽しめ♡

『おはあっ♡いらちちゃんのおちんぽで子宮なでなでされるの好きからっ♡♡♡エッチなお汁いっぱい出すからきっとなでなでしてえ♡♡♡』

『あふっ♡いらちちゃんのおちんぽで子宮口の感触が♡♡♡中でおいてもらっ♡♡♡』

『うん♡いらちちゃんのせーえきミルク、♡♡♡中おいてもらっ♡♡♡ミルクおいてもらっ♡♡♡』

このくらい歳の子ならもう初●が来てても不思議ではないが  
理性よりも本能が勝った俺は止まらないっ♡  
●●生に無責任種付け交尾っ!!!♡  
どちゅどちゅと子宮口を亀頭でノックしながら  
激しくちんぽを出し入れ  
する!!!♡♡♡

『ひぎらららっ!!!♡♡♡  
おちんぽで子宮いじめられるのしゅまいららっ!!!♡♡♡  
イべっ!!!♡♡またイべっううっ!!!♡♡♡』







バハッ

バハッ

バハッ

バハッ

バハッ

バハッ

バハッ

バハッ

バハッ

バハッ

バハッ

バハッ

バハッ



『はあっ♡はあっ♡絶対に妊娠させてやるっ!!!!♡♡♡♡』

ありっただけ射精した後も

俺は出した精液を子宮にまんべんなく塗り込むように  
ぐちゅぐちゅと膈内をちんぽでかき回す♡

『おっ♡んおあっ♡♡あはっ♡♡いいちゃん必死すぎい♡♡  
でも前にエッチしたおっさんにもいっつぱい中だしされちゃてるからなあ♡♡  
もしかしたらそっちでもう妊娠しちゃってるかもあ♡♡♡』

なんだって!?!嫉妬と興奮でまたちんぽが硬くなる!!!!♡♡♡

ぬいっかん  
ぬいっかん  
ぬいっかん



『ぞ、ぞんないじわる言っ子はおうだっ!!!♡♡♡  
けつ穴でおまんこされて反省しろおう!!!♡♡♡』

俺は夏海ちゃんのおまんこからずるりと  
精液と膣汁でぬるぬるになったちんぽを抜き、  
今度は無防備な肛門にじゅっぷりと根本まで挿入する!♡♡♡

ぬぶううっ!!!♡♡♡

『ほおおおおおっ!!!?♡♡♡♡♡♡♡♡♡』





一気に入れたちんぽを、今度はなるべく時間をかけて、肛門からゆっくりと引き抜く！  
めろめろと、肛門のお肉がさんぽに吸い付くように引き伸ばされる♡♡♡

へはあああ♡♡♡うんち出してみたい♡♡♡  
おっ♡おほおっ♡♡♡  
おちんぽうんち太いいっ♡♡♡









お尻

おまんこ

お乳

お尻

おまんこ

お胸

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

『やっぱり外でのエッチもきもちーな♡♡にひひっ♡♡まらぶらり♡♡♡』

『き、きもち帰っちゃうの？で、きねばもたぬっぞ…』

『わいい♡これから友達と釣りいくんだ♪  
次会ったら今度はたっぷりエッチしようぜ♡♡  
ちゃんとチンカス溜めとけよぉ♡♡あたしがまたお掃除してやつからせ♡♡♡』





いたずらっぽく笑いながら夏海ちゃんは手早く身支度を整える……。もちろん、膣内と肛内には俺がたっぷり出した精液が残ったままだ♡



『えへへ♡そんじやまたなー♡』

手を振りながらたつと駆け出していく夏海ちゃん。

●供は元気だなー！ー！ー！ー！。

そんな夏海ちゃんから元気を分けて貰えたように、俺の気持ちも軽い。

『また会えよー！ー！ー！』

海を眺めながらぽつりと呟いた。

俺には最近、心配事がある。

一人娘の夏海の事だ。目に入れても痛くないほど可愛らしい愛娘。

手塩にかけたただけあって、

言葉遣いは多少やんちゃな少年のようだが、可愛らしく、真つすぐ浣刺と育つてくれた。

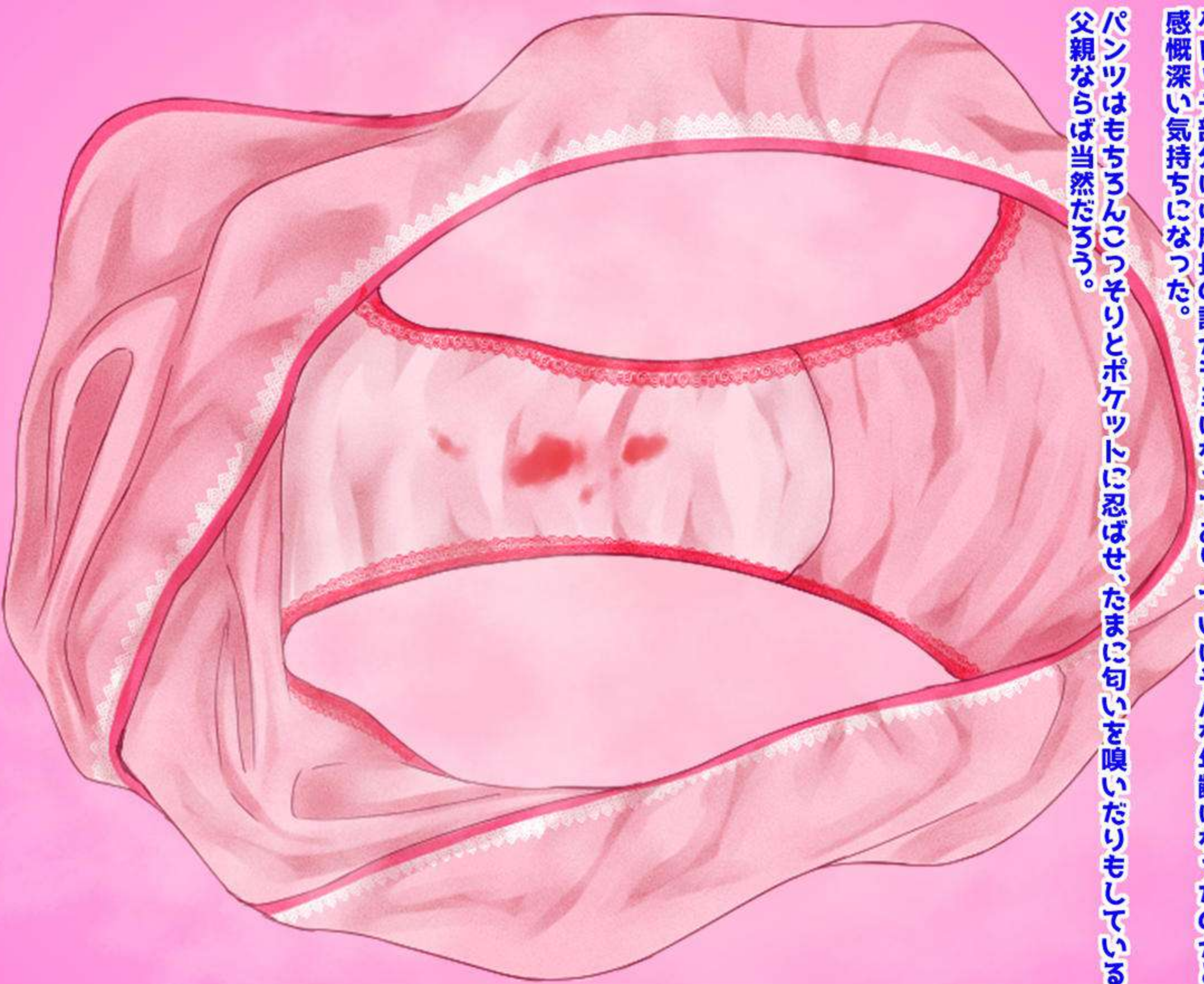
特に最近はお胸も膨らみ、お尻もぷりつと女性的な丸みを帯びて来ていて、多少、目のやり場に困ったりもする♡

身体は徐々に女として成長しつつも、心はまだ子供のようで、薄着のままこちらに抱き着いてきたりするものだから、その度に我が子に対して俺の股間は……こほん。話を戻そう。



ちよつと前に洗濯物の中に見つけた夏海のパンツ。  
クロッチ部分には成長の証がシミになっており、ついにそんな年齢になったのかと、  
感慨深い気持ちになった。

パンツはもちろんこっそりとポケットに忍ばせ、たまに匂いを嗅いだりもしている。  
父親ならば当然だろう。



最近、夏海の帰りが遅いのだ。

もちろん、門限ギリギリには帰って来てるのだが、帰ってすぐはお風呂場に行かずに、湯上りは事後の雌のようなく、

むわっとした色気めいたまの感じるのは俺の気のせいなのだろうか。

……と、いかに。まあ、その、きょうらう年ごろなわけだから、

この最近の夏海のすまじつとした変化には父親として向き合わねばならぬ。

幸い(っ)妻は今日は留守にしているのだ。

久しぶりにじつと夏海と話してみようと思っ、夏海の部屋まで足を運ぶ事にした。



『夏海く？ケーキ買ったから父さんと食べないか？♥』

部屋にはむせ返るような濃いメスの香りが充満し、おもちゃとおまんこの擦れる、いぢやいぢやとした淫靡な音が響く。

だらしなく舌を出し、股を大きく広げて、大人のおもちゃでオナニーに耽る愛娘の姿。

ドアを開けた俺の視界に飛び込んできたのはあり得ない光景だった。

『な、夏海！？お前ないして…』

『ふあ？♡あ、お父さん♡やばっ♡見つかったあ♡』

夏海は悪びれる様子もなく、

むしろ俺におまんこが見えやすいように腰を突き出すと、  
じゅぶじゅぶとおもちやを激しく出し入れして見せる。

『いひっ♡むらむらしてきたからおまんこ穴、  
自分でほじほじしてたんだあ♡これ気持ちいいんだよあ？♡  
前にエッチしたおっさんに貰ったの♡  
えへへ♡あたしのお気に入りに♡見てて♡  
こうやって出し入れしてえ♡んおおっ♡  
ほらっ、カリのどこがっ♡おっ♡おまんこの穴にひっかかって…  
おへえっ♡な、なかですんすんって♡♡おひいっ♡♡♡』

『…から服を着る…すよっ…話がある…』



『え〜♡いいじゃん♡♡  
あたしがオナっつてイっつちやうと見ててくれよあ〜♡  
んふふ♡そ・れ・に・は〜♡そんなにおちんぽ勃起させて言っつても  
説得力ないぞ〜♡』

『なっ!』

俺は慌てて自分の股間を見る、なんてことだ…

情けない事に娘の痴態で興奮したのが、

ちんぽはパンツの上からでも分かるくらいギンギンに勃起していた。

『んっ♡んひっ♡それにい〜…♡』

あたし知ってんだぞ♡お父さんがあたしのパンツでオナっつてんの♡♡』

顔が二気に熱くなる。そ、そんな!?!見られてたのか!?!

『いっつ♡あたしのパンツのおまたのどい♡』

ペロペロしながらおちんぽごじごじしてえ〜…♡♡

いっつぱいせーえき出してたよな♡

えへへ♡あたしも興奮してその後めっちやオナニーして

いっつぱいイっつちやたあ♡』

『そ、そんな…』

『お父さんってば、しっかり拭かないでパンツ穿いちやうんだもん♡  
その後、洗濯機の中のパンツ見たら  
せーえきのシミがカピカピになってたんだぞ?♡  
でもおあいこだよな♡  
あたしもお父さんのパンツのせーえきのシミごと舐めたり♡  
口に含んくちゅくちゅしたり♡お父さんのせーえきの味と臭いで  
オナって、いっぱいイっっちゃたあ♡♡』

せーえき  
シミ  
カピカピ

舐めたり♡  
口に含んくちゅくちゅしたり♡  
お父さんのせーえきの味と臭いで  
オナって、いっぱいイっっちゃたあ♡♡

んんん  
んんん

『だから、ね?♡お父さんも一緒に気持ち良くなる?♡♡♡』

夏海がちゃんぽい媚びをみせたらさうしく微笑む。  
その瞬間、俺の理性は崩壊した。

『な、夏海!!』

俺はパンツを脱ぎ、既にながちがちに勃起したちんぽを娘の前に晒す

『わー♥やつぱおつきらー♥♥  
匂いこいまで来るぅ〜♥  
えへへ♥じや、一緒に気持ち良くなろっ♥お父さん♥♥』



ぶちゅぶちゅと下品な音をたてて、  
おもちゃが夏海のおまんこを擦る♡  
おむつを変えてあげたり、  
一緒にお風呂に入ったりして見てきた夏海のおまんこ♡  
そのおまんこが今は男のちんぼを喜ばせる為の  
立派な性器として目の前にある♡  
まだ●供故に毛も生えていないつるつるぴんぐのおまんこのに、  
怪えこんだおもちゃを貪欲に舐めしゃぶるその様は卑猥としか  
言いようがない♡

『夏海！♡夏海！♡夏海！♡』

俺は娘の痴態をおかすに激しくうさたんぽお擦No♡

『お父さん！♡イクっ！♡  
あたしそろそろイクっぢやううっ！♡  
ほおおっ！？♡すぢいのっ！♡すぢいのくりゅっ！♡  
お父さんに見られながらおまんこイクううっ！♡♡♡』

『お、俺せイクっ！♡めおまっ！♡誰いザーメンだっ！♡  
『イクイクイクっ！♡♡♡  
おとーしゃんっ！♡ざーめんっ♡ざーめん夏海にかけてっ！♡  
夏海におとーしゃんのざーめんどびゅどびゅかけてっ♡♡♡  
んおおおおっ！♡♡♡』



『夏海のうわーん！』

うわーん！

うわーん！

『すげーっ♡いっぱい出したな♡  
おもちゃのおちんぽにもこんなにせーえきかかってるっ♡  
んふっ♡あたしのおまんこ汁とお父さんのせーえきの  
ミックスだあ♡♡れるっ♡れるあっ♡♡』

夏海はおまんこから抜き取ったおもちゃを  
れるれると嬉しそうに舐め回している♡  
俺はといえば、実の娘に盛大にザーメンを  
ぶっかけてしまい猛省中である…  
しかしなんでこんなスケベな娘に育ってしまったのか、  
お父さんはうれし…悲しいぞ。  
見れば、アナルにローターまで入っており、  
いモーター音がアナルの皺から漏れ出ている。

『どこかで夏海、お前、他の男ともセックスしてるのか？』

『おう♡アルバイトでエッチなマッサージ♡♡  
釣りって金かかるんだよなあ♡』

『何人だ？』

『ふえ？』

『何人とセックスしたんだ?』

ちくしょう、父の俺を差し置いて

可愛い夏海にあんなことやこんなことを  
したやつらがいるかと思うと実に腹立たしい!  
俺は嫉妬やらなんやらが入り混じった感情で

夏海の尻から伸びているローターのコードをぎゅっとして引く張る♥

『んひいつ♥ぽ、2.03人……くらいつ……』

いらつがウンをいつらしてゐる時はすぐに分かる。

『本当は?』

聞きながらさらに力を入れてコードをひっぱる♥

夏海の可愛いらしい肛門からぬぷりとローターの頭が覗く♥

肛門をバイブされ、夏海のおまんこからJUNJUNJUNと汁が垂れ流される♥

『おっ♥んおおっ♥じゅ、10人くらいつらいつっ♥♥♥おひらつ♥♥♥』

『お父さんにウンをつく子はお仕置きだっ！♥』

俺は「家の裏のローターを抜く♥

ぶぽこで響らめくローターが抜け、モーター音が部屋に響いた♥

だっ  
だっ

『はへええええっ！♥♥♥♥』

ん  
ん

ん  
ん





『はへええええっ！♡♡♡♡』

『おっ♡んおおっ♡』

おっ  
おっ  
おっ  
おっ  
おっ

おっ  
おっ  
おっ  
おっ  
おっ

勢いよく肛内のローターを引き抜かれ、  
軽くイッたのか夏海がピクピクと可愛ひしく痙攣してら♡  
これは今後の事も考えて、しっかりと教育しなくてはならぬだぞっ。



夏海の服を脱がせ、俺自身も素っ裸になると夏海を膝の上に乗せる。  
文字通り、父と娘裸の付き合いだ♡

俺は抱きかかえるように回した手で夏海のまだ未成熟な膨らみかけおっぱいを  
揉みしだきながら、もう片方の乳房をむちゅむちゅと  
唇で弄ぶ♡

ちよつと前まで男の子みたいにいっぱったんこだったのに、  
ちやんと成長しているんだなあと、子の成長を胸中でしみじみと喜んだ♡  
ぶるぶると柔らかい乳房は実に触り心地、舐め心地が良い♡



『あはっ♡お父さん赤ちゃんみたいだな♡  
大きい赤ちゃん♡夏海ママのおっぱいはおいらでちゅかあ？♡』

夏海がそう言っつてキヤミキヤとはしゃぎまわったんぐらうん♡



俺は夏海のおっぱいを強く握るぞ、  
指先で挟み込むようにして既にびんびんに勃起した乳首をじゅきゅげゅ

『じゅきゅらららんっ♡♡♡乳首らっ♡♡♡  
乳首ぐらぐらっ♡♡♡  
ごーもんじゅられながら乳首ぐらぐららららっ♡♡♡』





甘える夏海の声で立て直しかけていた理性が再び崩壊する♥

じゅぷぷぷっ♥♥♥

俺は夏海の手でおまんこ汁でぐしょぐしょになった膣穴に指を滑り込ませた♥

『ほおおっ♥おまんこっ♥  
おまんこにお父さんの指きたあっっ♥♥♥  
あへっ♥おまんこの穴もっといじってええっ♥♥♥』

中指で膣口をかき回すようにして、  
指の動きに合わせて夏海尻が跳ねる♥  
膣口はきゅんきゅん指を締めつけ、後から後から  
ととととまん汁が湧き上がってく♥



『夏海、舌だせ!』

『んひっっ♡はへっっ♡舌……ふぁーお?♡』

向かって突き出された舌に  
自分の舌を絡ませる♡

親子のキスではない、オスとメスのする濃厚なディープキス♡

『はむっ♡んぢゅっ♡れろっ♡れろっ♡』

夏海も目をこらんとさせて嬉しそうに舌を絡めてくっ  
その間も指は絶えずぐちゃぐちゃと夏海のおまんこを  
ぐぐぐ回す♡

ふぁあああ

『んえっ♡ぬぢゅっ♡れろあ♡』

んぶっっ♡へはっ♡お父さんっ♡

イぐっっ♡べろちゅーとおまんこでイっっちゅっっ♡♡♡♡♡』

『れぢゅ♡れろっ♡ぷはっ♡イけっ♡』

お父さんにおまんこほじられてイけっ♡』

膣内のぞりぞりとした天井部分を指の腹でリズムミカルに擦る♡

『イぐっっ♡イぐっっ♡イぐっっ♡……♡♡♡♡♡』

夏海が二際高い声で鳴くと、膣口がぎゅーっっ指を締め付け、おしっこの穴からイキ潮が噴き上がった♡

『おはっ♡どうだっ♡あたしのおまんこよく見えんっ♡♡』



夏海をベッドにもたれさせ、

ぷりぷりと健康的なエロスを振り撒くお尻をこちらに向けさせる♡

おまんこの縦すじも色艶の良い肛門も丸見そのポーズ♡

これからされるであろうドスケベな行為への期待で

割れ目からはまん汁がとろとろとあふれ出している♡



『まったく、親に内緒であかの他人に  
こんな気持ちよさそうなエロ穴を開放して！♥お父さんは悲しいぞー！♥』

ぐいっとケツをわしづがみにして両穴をくぽくぽと広げ♥  
濃いメスの香りが漏れ出し、俺の鼻腔をくすくす♥

『んあっ♥えへへ♥  
お父さんにあたしの身体の中見られちゃって♥♥♥』

夏海は嬉しそうにケツをふりふりと揺す♥  
どちらの穴もクパクパと物欲しそうに収縮し、  
ちんぽをびんびんと刺激してく♥









じゅぷぷぷっ…ずむっ…!!♡♡♡♡♡

『んおおおおおっっっ…!!♡♡♡♡♡』



ずぶずぶと埋め込んだアナルバイブが半場まできたとこで一気に奥まで  
すべり込ませる!♡♡

夏海の腰が跳ね、おまんこがはげはげとマクメ潮が飛び出す♡♡









『んぼっ!♡んぼっ!♡んぼっ!♡んぼっ!♡  
ぢゅぽっ!♡ぢゅぶぶっ!♡♡♡♡♡』

夏海が嬉しそうに俺のちんぽを舐め、吸い、しゃぶりまくるっ!♡♡♡  
どうすれば男が喜ぶかをしっかりと理解した夏海のマエラチオ♡♡♡

口内で唾液をたっぷりと絡ませ、可愛らしい唇をぎゅゅっつと窄ませて  
竿を扱きながらも、ぢゅゅゅゅと亀頭を吸い上げる♡♡♡

その間も小さな舌はすすぶるで肛門を舐め、射精を促してく♡♡♡  
● 供の、ちんぽは娘のマエラチオっ!♡♡♡

親子のスキンシップを超えた男と女の性行為♡♡背徳感も手伝って、あっという間に  
金玉から出てくる熱いザーメンがこみ上げてくるっ!♡♡♡

じゅっ!♡  
じゅっ!♡

『んぼっ!♡♡♡♡♡  
な、夏海っ!♡♡♡♡♡』

イクぞっ!♡♡♡父さんの特濃ザー汁っ!♡♡♡  
『娘のお口でぶすませませっ!♡♡♡』

『んぼっ!♡♡♡んぢゅぶぶっ!♡♡♡  
ぢゅぶぶっ!♡♡♡おとーひゃんのエッチなミルクっ!♡♡♡  
なふみのおふひに  
いっばいらしてえええっ!♡♡♡』

んぼっ!♡  
ぢゅぶぶっ!♡







ななっ

ぶぶ

俺は後ろから夏海の股間に手を伸ばし、  
まだ幼い割れ目にゆぱつと広げると、  
膣口にずぶずぶとちんぽを埋め込んでいく

『あへえええっっ!!!♡♡♡』

『お、お父さんのおちんぽ入っってきたあ♡♡♡♡♡』

これが娘のおまんこ♡♡♡♡♡

き、気持ち良すぎじゃー♡♡♡♡♡  
脳裏に夏海との親子の記憶が浮かぶ。

俺の自慢の可愛い娘。

その娘と俺は今こうして交尾している♡♡♡♡♡  
先走りの汁がびゅっぴゅと尿道から漏れ出し、  
なつみの膣内でおまんこ汁と混ぜり合う♡♡♡♡♡

『ふおおおおおっっ♡♡♡』  
とろけるようなおまんこ穴の感触♡♡♡  
熱い肉粒がぶちゅぶちゅとちんぽを刺激し、  
狭い膣が強烈な締め付けて射精を促していく♡♡♡♡♡









甘ったるいミルクのような香りのする夏海のお尻のベツベツに寝そべった俺の上で、同じく仰向けの体勢で上に乗った夏海がぎこちなく腰を動かす♡

『ほら、夏海♡ちゃんとかツぶらないとお父さんのちんぽ奥までとどかないぞ♡ほら、がんばれがんばれ♡』

言いながら俺は小さく腰を使い、亀頭で夏海の肛門をじゅぶじゅぶと責め立てる♡

『おへっ！♡だ、だってこの恰好だと…んひいらっ♡♡♡う、うまく動けな…んおあっっ♡♡♡』

亀頭で肛門を擦られる快感に喘ぎながらへこへこと腰をふる夏海だが、この体制だと俺が腰を使わないと、ちんぽは浅くしか入らない♡

『はひいらっ♡お、おとーさんっ♡いじわるしないで夏海のお尻のお、奥に…んへっ♡奥までおちんぽずぼってしてえっ♡♡お、おちんぽの…おひっ！♡根本までもずぶずぶうっっ♡♡入れて欲しいの♡♡ねえ♡おねがいっ♡♡』

『実の父親にアナルセックスおねだりする  
スケベなケツ穴にはお仕置きだっ!♡♡♡』

ぐぷっ!♡ぬぢゅっ!♡

ぬぢゅっ!♡ぬぢゅっ!♡

『おおおおおっ!♡♡♡  
おちんぽすんすんしゅきららんっ♡♡♡  
けっけっけっ!♡♡♡  
あなるせっくすですっ!♡♡♡』

『ふっ!♡ふっ!♡  
アナルとおまんこはどっちが好きなんだ?♡  
おっ!♡おっ!♡』

『んおおっ!♡どっちもしゅきっ!♡♡♡  
どっちもおちんぽされるのしゅきらんっ!♡♡♡  
おへええっ!♡♡♡  
またいつちやうっ!♡♡♡  
おっ!♡おっ!♡おっ!♡』

おまんこ  
おまんこ



めぶううううう！！！！♡♡♡♡

『おほおおおおおっうっうっ！！！！♡♡♡♡  
おまんこっ！！！！♡♡♡♡  
おまんこもほじほじっ！！！！♡♡♡♡』

けつ穴からめぼつと抜いた湯気の立つちんぽを  
今度は夏海のおまんこに挿入！！！！♡♡♡♡  
けつ穴アケメが腫で目一杯締まっている為、  
カリ首がひっつかかって、奥まで挿入できない♡  
しかしイった直後で敏感になっている  
おまんこには穴はそれだけでも十分な刺激を  
夏海に与えたようで、夏海尻がぶるんって震えNo♡







ありつたけのザーメンを注ぎ込んだ子宮は  
全方位精子に囲まれて卵子の逃げ場が無い  
ザーメン漬け状態♥♥♥  
出したザーメンが漏れ出さないようにハ  
ちんぽでしつかりと蓋をする♥♥♥

『ほへえっ♥あへっ♥あへっ♥あへっ♥』

息も絶え絶えにアグメの余韻で  
ビクビクと痙攣する夏海♥

『はあっ♥はあっ♥いいいいか夏海  
これからはお父さんがお小遣い上げるから  
もう他の男とセックスしちゃダメだぞ!♥  
夏海の穴という穴は  
お父さんのちんぽ専用だからなっ!♥  
わかったか!?!♥♥』

返事を促すようにいざいざと子宮を小突く♥

『んへっ♥わ、わかつたあ♥♥  
おとーさん専用まんこになりゆうっ♥♥  
れろっ♥♥れろっ♥♥』



それからというものの、俺と夏海は妻が居ない時は  
ひたすらセックスしまくった♡

時には妻がいる時ですら、

一緒にお風呂に入るといふ名目でおまんこ♡

勉強を教えるといふ名目でおまんこ♡

膝に乗せて一緒にテレビゲームで遊ぶふりでおまんこ♡

『ただいま〜♪』

あはっ♡お父さん素っ裸だあ〜♡

今日はお母さんお出かけなんだな♡』



『おかえり夏海♥』

『ごっごっ♥』

じゃあ、お父さんのおちんぽにもただいまあ〜♥♥♥』

♥おちんぽを撫でてあげると勃起した俺のちんぽを撫でてあげてね♥



『きゅわうっ♡♡  
も、お父さんってば、がっつき過ぎいっ♡♡  
そんなに急がなくてあたしのおまんこは逃げないぞあ♡♡♡♡』

『夏海だっって♡  
きゅあまんこ汁でパンシびごみびごみだぞっ♡♡♡』



あーっ♡♡  
あーっ♡♡

あーっ♡♡  
あーっ♡♡

あーっ♡♡  
あーっ♡♡

あーっ♡♡  
あーっ♡♡  
あーっ♡♡  
あーっ♡♡

あーっ♡♡  
あーっ♡♡  
あーっ♡♡  
あーっ♡♡

あーっ♡♡

あーっ♡♡

あーっ♡♡



玄関先で帰宅した娘のケツ穴に

ちんぽをぶち込める父親がこの世界で何人いるだろう？♡♡

めるめるした直腸の感触とザーメンをおねだりするよらめ

ぢゅっつとちんぽを吸い上げる肛門の感触が心地良ら♡♡

『けっつ♡けっつ♡けっつ♡けっつ♡』

あゝおるせつくしくしみもひらららんっっ♡♡♡♡

おっ♡おおっ♡もっとおちんぽっっ!!♡♡

おちんぽでけちゅ穴ほじほじしてえええんっ♡♡♡♡』

おっ♡おおっ♡もっとおちんぽっっ!!♡♡

おちんぽでけちゅ穴ほじほじしてえええんっ♡♡♡♡







●供パンツの擦れる感触と  
トロトロおまんこの感触が  
ちんぽをいれでもかと刺激する♡♡♡

『おっ、おとーしゃ♡♡♡

れ、連続だからますます♡♡♡ちんぽが♡♡♡

おほおおっ♡♡♡

イ、イってきくらっ♡♡♡

おとーしゃんより先にイっ、イグううん♡♡♡』

ぐわぐわぐわ

おっおっおっ  
おっおっおっ  
おっおっおっ

おっおっおっ

おっおっおっ

おっおっおっ

おっおっおっ





『くふううっ♡♡だめだっ！♡♡  
イク時は親子一緒について言っただろ？♡  
イクのがマンだぞっ！♡勝手にイっただら前にしたみたいは  
ちんぽお預けで1時間クiriいじりの刑だからなっ！♡♡♡♡』

『やあああっ！♡♡

あれ、おちんぽ欲しくておかしくなまののあっ！♡♡  
が、がまんっっ！♡♡

イクのがまんんっっ！♡♡  
ふぐうううっ！♡♡♡♡♡♡♡♡

あまらばい

あまらばい  
あまらばい  
あまらばい  
あまらばい



アクメ我慢で夏海のおまんこが  
更にぎゅーっ〜っ〜っとなんぽを締め付けろー♡♡♡  
こちらもう我慢の限界だっ〜♡♡♡

『夏海、イクぞっ〜♡♡♡  
たっぷり中だしてやるっ〜♡♡♡  
お前もイクっ〜♡イクっ〜♡イクええっ〜♡♡♡』

おまんこを握ってイク〜♡♡♡夏海のおまんこを責めつけてる〜♡♡♡

『や、やっただあ♡♡♡  
すぐイクうううっ〜♡♡♡

おっ！♡  
おっ！♡

おっひらひらっ〜♡  
イグ！イグ！イグうううっ〜♡♡♡

おまんこ

イク

イク

イク

イク

イク

イク





巨大な衝撃  
巨大な衝撃

巨大な衝撃  
巨大な衝撃  
巨大な衝撃

巨大な衝撃

巨大な衝撃

巨大な衝撃  
巨大な衝撃  
巨大な衝撃  
巨大な衝撃  
巨大な衝撃

巨大な衝撃

『はあっー!♡はあっー!♡はあっー!♡はあっー!♡はあっー!♡』

玄関に二人の荒い息遣いが響く♡  
我を忘れて夏海とのセックスに没頭してしまった♡  
ご近所には聞こえなかつた事を祈ろう♡

『そ、そういういえば夏海♡お父さんからプレゼントがあるんだが…♡』

お父さん

『はっ♡はっ♡はっ♡…ふふふ…♡プレゼント…♡♡♡』

お父さん

『ふおおっ♥可愛いぞ夏海さらさらっ!♥♥♥』

ネットで買ったエロバニーコス♥  
ちっばいが丸見えのドスケベ仕様だ♥  
さっきあんなに射精したばかりだっ、  
俺のチンポはまたギンギンに勃起する♥♥♥

『プレゼントって、これお父さんが  
着せたいだけじゃん!♥  
娘にこんなエッチな格好させて喜ぶとか、  
お父さんのヘンタイっ♥♥♥』

『夏海がエロすぎるのいけないんだぞ〜  
でも、本当によく似合ってる♥  
お父さん、またちゃんぽ大きくなっ  
てしまったよ♥』

『えへへ♥あたしエロ〜♥♥んふふ〜♥♥』



エロバニーコススの夏海をリビングの  
ラグマットの上に横たえさせる♥  
夏海の周りには夏海が登校で使っている●●セルと  
以前にごっそりとくすねてオナニーに使用していた  
●潮のシミ付きパンツ♥

『お父さんってほんとヘンタイだよなー♥』

『ヘンタイなお父さんは嫌いか?』

『いひっ♥好きっ♥  
ヘンタイなお父さんのおちんぽは  
もっと好きいっ♥♥ね、早くおまんこしよあ♥♥  
おちんぽで奥までずんずんってして、  
ざーめんびゅう~~~~っつて  
子宮にいつぱら出してえ♥♥』

♡ 釦を外して夏海のおまんこを露にする♡  
♡ ねとおろっと、濃いまん汁が♡  
♡ おまんことレオタードの間にアーチを作った♡  
♡ おわつと濃いメスの匂い立ち上り、♡  
♡ ぷりつと現れる血色の良い綺麗な縦すじおまんこ♡

『なんかこの恰好だとオムツ替えられてるみたいだな♡  
♡ ばぶばぶうる♡スケベな赤ちゃんに早く♡  
♡ パパの濃いどろどろミルク飲ませて欲しいでちゅう♡♡♡』





おまんこの割れ目をなぞるように竿で擦る♡  
ちんぼとめるめるのまん肉が擦れ合い、  
にゅぢいにゅぢと卑猥な音をたてる♡

『んああうっ♡くりっ♡クリ擦れるうっっ♡♡♡  
早くっ♡  
おちんぼ夏海の中に入れてえ♡んひいつ♡♡』

『中に入れてじゃ分らないそっ？♡  
もっと分かりやすくスケベにおねだりしよっ♡♡』

ちんぼに激しく、ちんぼどクリを擦る♡

『おひいつ♡  
お、お父さんのおちんぼ、  
夏海のおまんこの穴に入れて♡  
ずぼずぼ出し入れして♡  
エッチなミルクいっっぽらびゅるっ♡♡♡  
しゃせーしてくださいっ♡♡♡』



父親にちんぽハメをおねだりする  
スケベな子はこうだ!♡♡♡♡♡  
おら♡、まんこで父親のちんぽの形しっかり覚えろ!♡♡♡♡♡』

ずぶりっつ♡♡♡  
つと夏海のおまんこにちんぽをぶち込む♡♡♡

『ほおおおおおおおっっっっっ♡♡♡♡♡  
おちんぽハメハメええっっっ♡♡♡♡♡  
しゅきっ♡♡♡♡♡  
これしゅきっ♡♡♡♡♡』

























































































































Singer

ゼン

ゼン

LOVE  
Singer  
LOVE  
Singer

























































































































































































































